

山田小学校だより (Metamorphose)



文責 校長 谷川 晴峰

何故、日本人には英語力が身に付かないのか？(再掲)

保護者の皆様、突然ですが「英語」は好きですか？日本人の多くが、「英語は必要だと思うけれど、どうやって勉強したらいいのか・・・。」中学校で3年、高校で3年、大学まで行けばほぼ8年以上も英語を学んでいるのに、読めない、書けない、聴けない、話せない・・・。これは、ある意味「すごい」ことです。極言すれば（あまり書きたくはありませんが）、多くの時間を費やしているにもかかわらず、対費用効果が極端に低すぎることになります。実に、もったいない話だと思いませんか？

自分の経験を辿ってみると、「英語は大好きばってん、成績は最悪」でした。初めて買ったレコードは、The Beatlesの"Let it be"でした。暇さえあれば聴いていました。小学校6年生の時でしたが、「英語ってカッコいいな」という印象が、私と英語の出会いでした。しかし、学校で習う英語には違和感しか覚えず、英語文化は好きだけど、英語学習は大嫌いという時代が長く続きました。

20歳の頃、「一から英語を学ぼう」と思い直し、文法書を読み漁りました。結論を述べると、英語を攻略するには「文法」を学ぶのが一番の近道だということです。異論も沢山あると思いますが、「文法」こそが、貴方を英語の習得に導いてくれます。中学校で習う文法を全て会得したら、間違いなく英語はしゃべれます。そして最も大事なことは、ビビらないことです。日本語（生月弁）を喋れる貴方が、英語を話せないはずがないのは明白な事実です。

英語に関する文字は、わずか26！日本語には、ひらがな・片仮名・漢字！おそらく数千の文字があります。どう考えても、日本語より、英語の方が簡単なはずです。「そう言われても・・・」という弱気の発言が聞こえてきますが、日本語ほど難解で使いにくい言語は存在しません。

私は常々、「日本語をしゃべれる私たちにとって、英語なんか楽勝！」と言っています。少しだけ頭を切り替えてください。英語なんて「ちょろい」ものです。今後、小学校でも英語の授業が普通に行われていきます。うまく機能すれば幸いです。英語嫌いの子供を増やす危険性も存在しています。考えたくもありませんが、5～6年生担任を希望する教員が激減するかもしれません。今回の「英語の教科化」は、大きな問題を内包しています。大学の入試改革とも連動しており、注視していく必要があります。

この学校便りを通じて、「なるほど、こんな風に言えばいいんだ」という、英語の決まり文句や、お洒落なフレーズを紹介していきます。親が変われば子供は変わります。「英語なんて簡単！」という思いが親にあれば、子供にも伝わります。「たかが英語！」です。

磨けてますか？とても大切な歯！洗わせてますか？顔！

随分と寒くなりました。今朝の登校の様子を見ていると、子供たちも「冬本番」を意識しているようで、防寒着姿が増えてきました。例年よりは「暖冬」だそうですが、御自愛ください！

寒くなると、「冷たいもの」を避けてしまいがちです。朝の洗顔・・・ちゃんとできているでしょうか？洗顔時の冷水による刺激は、目を覚まさせると共に、脳の起動を早めます。そして、一日の始まりを自覚する行動のはずなのですが、顔も洗わず歯も磨かずに登校となると、学習効果が減少するのも当然の理です。

布団から出るのにも、勢いが必要かもしれません。寒さに負けない元気な心と体が、充実した生活の源となります。磨かせてください、大切な歯。水が冷たくても、洗わせてください、大事な顔！